

せんげんだい 越谷市立千間台中学校

保育実習体験



第3学年

特色

- 地域の幼稚園と連携し、毎年保育実習を行っている。
- 3学年が保育実習に向けて、家庭科や美術、社会の授業等で家庭や保育、乳児や幼児の心や体の成長、安全なおもちゃ、ワークバランス等について学習し、子供の発達について理解を深める。
- 保育実習に持参するおもちゃを夏休みの課題として課し、各自工夫して製作している。

生徒の感想

- 小さい子供と接する機会がないので、最初はどのように接してよいのか少し困ったが、一緒に遊んでいるうちに接し方が分かり、可愛く思えた。自分の子供ができたときに、一緒に遊んであげたい。
- 将来、保育士や幼稚園の先生になろうと思っているが、しっかり勉強して、ますますなりたいという気持ちが強くなった。先生方が、子供たちの安全面やルール等で配慮している様子を垣間見ることができた。

成果

- 幼児との交流を通じて、地域の一員としての自覚や責任が生まれた。また、小さい子供や自分より弱い方への優しさや配慮の気持ちを深めることができた。
- 保育実習で、「園児に喜んでもらいたい」という目標に向かって、学習を深めたり、試行錯誤しながらおもちゃを製作したりして、将来地域や家庭を担い、子供を育てていく自覚が芽生えた生徒が多数いた。また、将来、家庭生活がうまくいくために、受験勉強や進路決定の重要性を再認識させることができた。